

平成 30 年度 神奈川県立保健福祉大学  
編入学 入学試験

看護学科専門科目試験  
問題用紙

- 指示があるまでは中を見てはいけません。
- 問題用紙は 21 ページあります。
- 解答はすべて解答用紙に記入してください。

問題1 下記(1)～(3)の文章は、フロレンス・ナイチンゲールの著作「看護覚え書」から抜粋したものである。これらの内容は、下記枠内のどの内容を示しているのか、ア～スの中から適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (1) さほど深刻とはいえない原因からでも、病人にはとてつもなく大きな悩みが生じるものだという事をあなた方が心得ていれば、これらさまざまなことに対してもっと気配りをするようになるでしょう。
- (2) いずれにしても一人の看護婦\*が、患者の傍につくこと、ドアを開けること、自分の食事をする事、伝言を受けることなどをすべて同時にやっつけるのが絶対に不可能なことは間違いありません。
- (3) また、もう一つよくある誤りは、一つの原因に関してのみの質問を行い、それ以外のさまざまな要因から生じているであろうことに関して検討が加えられていないことです。

ア 換気と保温	イ 住居の衛生	ウ 小管理
エ 音	オ 変化	カ 食事
キ どんな食物を与えるか	ク ベッドと寝具類	ケ 日光
コ 部屋と壁の清潔	サ 身体の清潔	シ 余計な励ましと忠告
ス 病人の観察		

\*「看護師」という名称について、ここでは翻訳文のまま「看護婦」として記載している。

出典：Florence Nightingale. 小林章夫, 竹内喜(訳) 看護覚え書 対訳, うぶすな書院. 1998/2012. pp59, 61, 169, 177.

問題2 医療用酸素ボンベ(充填量 500L)の流量計の目盛りが、10MPaを指している。この酸素ボンベの酸素残量と、5L/分で酸素療法を行ったときの使用時間を解答欄に記入しなさい。ただし、小数点以下第一位は切り捨てとする。

問題3 バイタルサインに関して、ア～オの中から適切なものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 意識障害がある場合には、現病歴や既往歴から予測される原因だけではなく、AIUEOTIPSからも原因を考える。
- イ 会話がとぎれるような呼吸をしている場合は、速やかに呼吸パターンや呼吸数、補助呼吸の有無を観察する。
- ウ 脈拍測定において、橈骨動脈を触知できれば、血圧は90mmHg以上あると推定することができる。
- エ 触診法による血圧測定では、指3本で動脈を触知しながら、脈が触れなくなるところまで加圧する。
- オ 体温に影響する食事について、通常食後30～60分は消化吸収運動のため少し体温が下がる。

問題4 尿失禁の分類について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 反射性尿失禁は、咳やくしゃみ、重いものを持った場合など不随意に起こる。
- イ 切迫性尿失禁は、突然の強い尿意の直後に、不随意の尿排出が起こる。
- ウ 溢流性尿失禁は、尿道の機能不全があり持続的に尿の流出がある。
- エ 腹圧性尿失禁は、尿閉時に残尿量増大により膀胱内圧が高まり、尿がもれだす。
- オ 機能性尿失禁は、尿意がなく、膀胱容量に達した時に反射的に排尿する。

問題5 マッサージについて、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 手や指を使い身体の表面をさする、もむ、圧するなど刺激を与える施術である。
- イ 血管やリンパに作用し、局所の循環促進、浮腫の軽減などが促される。
- ウ 循環促進により筋肉の緊張や疲労物質の排出を高める効果が期待される。
- エ 疼痛のある患者に心地よさをもたらすことによる苦痛緩和が期待される。
- オ 足浴、清拭など清潔援助と併用して、足や腰背部などに行う場合がある。

問題6 検査における看護師の役割について、ア～オの中から適切でないものを選び記号で答えなさい。

- ア 検査前に患者からフルネームを言ってもらい本人確認を行う。
- イ 検査時の体位や注意事項などを患者に説明し、検査への協力を得る。
- ウ 検査に伴う身体への影響を理解し、異常の早期発見につとめる。
- エ 放射線使用時は、防護として遮蔽、距離、時間を考える。
- オ 造影剤使用時は、アレルギー反応と注入5分後の副作用に注意する。

問題7 Aさん（50歳代、男性）は、心原性脳塞栓症で、右中大脳動脈領域に梗塞が認められ、痰の吸引を必要時行っている。Aさんについて、問1、問2に答えなさい。

問1 Aさんのベッドサイドで実施できる検査について、嚥下造影検査と診断所見の一致率が最も高いものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 改訂水飲みテスト
- イ フードテスト
- ウ 喉頭挙上度検査
- エ 反復唾液嚥下テスト
- オ 頸部聴診法

問2 Aさんは、改訂水飲みテストが5点、フードテストが4点、喉頭挙上は1.5cmであった。Aさんの嚥下食開始前に実施する看護ケアや観察について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 口腔ケアを行い、口腔内を清潔にし、湿潤状態を保つようにする。
- イ 痰の吸引時にみられる咳嗽反射や嘔吐反射があるか観察する。
- ウ 食事に集中できるようにオーバーテーブルやベッド周囲の環境を整える。
- エ 誤嚥を予防するためにポジショニングは30度仰臥位にする。
- オ 食事前に呼吸音を聴取する。

問題8 次の事例を読んで、問1～問3に答えなさい。

【事例】 Bさん（30歳代、男性）は、共働きの妻と二人暮らし。既往歴はないが、頭痛で市販の非ステロイド系抗炎症剤を時折内服していた。Bさんから、「頭痛がひどいので早退する」と、妻に連絡があった。仕事を終えて16時に帰宅した妻が、居間で倒れているBさんを発見し、救急車を要請した。

問1 到着した救急隊が、発見時の状態を妻にきくと、「大きな声で呼んで、からだをゆするとゆっくり目を開けましたが、すぐ目を閉じてしまうので、ずっと声をかけていました」と答えた。発見時の意識状態をジャパン・コーマ・スケール（Japan Coma Scale：JCS）で書きなさい。

問2 到着した救急隊が確認すると、呼びかけに対する開眼と発語はなく、上肢に痛み刺激を加えると、目を開けて、逃れようとする動作がわずかに見られた。この時点の意識状態をグラスゴー・コーマ・スケール（Glasgow Coma Scale：GCS）で書きなさい。

問3 Bさんは、右中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血と診断され、緊急手術を受けることになった。Bさんへの対応について、ア～オの中から適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 術前は観察しやすいように大部屋とし、術後は個室にする。
- イ 再出血予防と頭痛軽減のために、頭部を氷枕で冷やす。
- ウ 刺激を定期的に加え、意識レベルが低下しないようにする。
- エ 不整脈が出現する可能性があるので、心電図モニターを装着する。
- オ 入院まで普通に飲食していたので、術前に浣腸をする。

問題9 次の事例を読んで、問1、問2に答えなさい。

【事例】 Cさん（50歳代、男性）は、日頃から、息苦しさはあったが、仕事に支障をきたすことがなかったので、放置していた。この数日、咳嗽がひどく、息苦しさが増して動けなくなったため、救急車を要請した。酸素吸入をしない状態での経皮的動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）が低く、酸素マスクで酸素吸入を行いながら搬送された。

問1 救急外来到着時、動脈血ガス分析で酸素飽和度（SaO<sub>2</sub>）は90%であった。ただちにリザーバーバック付きマスクに変更し、15L/分に酸素流量をあげると95%に改善した。緊急で行った他の血液検査は、白血球が上昇していた以外は、基準値を逸脱したものはなかった。推定される動脈血酸素分圧（PaO<sub>2</sub>）について、ア～オの中から正しい組み合わせを選び、記号で答えなさい。

酸素マスク	リザーバーマスク付き
ア 30 Torr	33 Torr
イ 45 Torr	50 Torr
ウ 60 Torr	80 Torr
エ 70 Torr	90 Torr
オ 90 Torr	95 Torr

問2 体温37.5℃、血圧120/84mmHg、脈拍数118回/分、呼吸数28回/分、ばち状指を認めた。酸素吸入をしても呼吸困難は軽減せず、両下肺野に捻髪音（fine crackles）を聴取した。咳嗽は頻繁にしているが空咳で、胸の痛みを訴えている。Cさんへの対応について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア ロすぼめ呼吸を指導する。
- イ 安静にして酸素消費を抑える。
- ウ 気管支拡張剤入りの吸入を行う。
- エ 腹臥位で体位ドレナージを行う。
- オ CO<sub>2</sub>ナルコーシスの症状を観察する。

問題10 次の事例を読んで、問1～問5に答えなさい。

【事例】 Dさん（50歳代、主婦）は、10年前に健康診断で高血圧を指摘されていたが、放置していた。今回、風邪がなかなか治らず、近医を受診したところ尿蛋白(+)であり、総合病院を紹介されて受診した。Dさんは、身長153cm、体重60kgで、体温36.1℃、呼吸数18回/分、脈拍64回/分、血圧166/96mmHgであった。血液検査データは、Hb9.3g/dL、アルブミン3.6g/dL、クレアチニン2.3mg/dL、HbA1c7.5%、K3.9mEq/L、推算糸球体濾過量〈eGFR〉24mL/分/1.73m<sup>2</sup>で、腎機能障害を指摘された。「最近足が腫れ、靴がきつくなった」と訴えている。

問1 腎臓病の悪化によるものと考えられる所見をア～オの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア eGFR値
- イ 血清アルブミン値
- ウ HbA1c値
- エ ヘモグロビン値
- オ 血清カリウム値

問2 精査目的で入院したDさんは「特に症状がないのに腎臓が悪いと言われて本当に驚きました。子どもや主人の食事の世話もあるのに、どうしたらいいかしら。高血圧が関係していると医師に言われたけれど、どういうことですか」と看護師に尋ねた。Dさんへの説明で適切なものをア～オの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「高血圧では尿が少なくなり腎臓を悪くします」
- イ 「高血圧が続くと腎臓の濾過機能が低下します」
- ウ 「高血圧では腎臓病の症状が現れにくくなります」
- エ 「腎臓の機能がさらに低下すると血圧が高くなり、むくみが強くなります」
- オ 「安静度が厳しくなり、食事の支度などの家事が難しくなります」

問3 入院翌日、Dさんは、主治医から「腎臓病以外に高脂血症もあり、メタボリックシンドロームの状態にあります。糖尿病の疑いも強いのでそちらも検査しましょう」と告げられた。Dさんへの対応で、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 10年前に高血圧症と診断されて以降の、食生活や療養状況について話を聞く。
- イ 糖尿病の診断後、主治医や糖尿病医療チームと連携をとり、教育プログラムの受講を検討する。
- ウ 慢性腎臓病や糖尿病とその合併症の精査が行われるため、キーパーソンである夫に連絡を入れ、入院の必要性を説明してはどうかと助言する。
- エ 今後腎症の進行が予想されるため、透析療法の導入のために透析室の見学や血液透析療法の教育を計画し実施する。
- オ 長湯が好きだというDさんの嗜好を聞いたが、湯につかる時間は10分以内が安全であると説明する。

問4 Dさんは降圧剤と経口血糖降下薬を処方され、1800kcal、塩分6g、蛋白質50gの制限食になった。Dさんへの対応について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 糖尿病腎症の食事では、適正なカロリーの確保が重要であることを説明した。
- イ 食べ盛りの子どもの食事の支度をしており、肉や魚の料理が多いと訴えたため、病院食で蛋白質50gの目分量を把握するよう指導した。
- ウ 処方されたアンジオテンシン変換酵素（ACE）阻害薬は、降圧作用と腎保護作用があるため、血圧が落ち着いても継続して服用するように話した。
- エ 経口血糖降下薬として、単独で処方されたインクレチン製剤は、低血糖になる可能性が高いため、症状と対処法を説明した。
- オ 足の浮腫がみられており、溢水症状が増強した場合には、水分制限が加わる可能性があることを話した。



問5 Dさんの状態が安定したため、退院の方向となった。看護師からは、セルフモニタリングの教育が予定されている。Dさんへの指導について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 体重測定を毎日行い、体重増加が顕著な場合は受診するように話した。
- イ 毎朝、血圧を測定し記録することを勧めたが、朝は忙しいと訴えたため、日中に時間を決めて測定することを促した。
- ウ 排尿の回数が減り、横になると息苦しい時には、受診が必要であると説明した。
- エ 足をていねいに洗い、足趾の間を含めて、よく観察するように話した。
- オ 手足のしびれや、全身の骨格筋の脱力は尿毒症のサインで、注意を要する症状であると説明した。

問題11 生涯発達理論における老年期の課題について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア ハヴィガーストは老年期を3段階に区分し、老年期前半の課題として、「自我の分化と仕事へのとらわれへの適応」としている。
- イ カウフマンは、老年期を「個人のライフサイクルの最終的な円熟期であり、過去から意味を見だし、現在を再構成することによって新たな自己を創造する時期」としている。
- ウ ペックは、ライフサイクルの視点から老年期を「身体の変化と社会的な役割への適応」とし、発達課題を8段階に分類している。
- エ フリーダンは、老年期の人々が成長を続ける存在であることを指摘し、老いが単なる衰退であるとする考え方を一蹴している。
- オ フリードマンは、高齢者は地域システムを構成する下位システムとして捉えている。

問題12 高齢者虐待について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）」は、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の後に成立した。
- イ 「高齢者虐待」とは、高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等の養護者による虐待行為をさす。
- ウ 「身体的虐待」の具体例には、入浴などの清潔ケアを怠ることや、高齢者を衰弱させるような著しい減食が含まれる。
- エ 高齢者虐待の要因には、家族関係の密着による共依存関係がある。
- オ 高齢者虐待に関する市町村の体制整備として、市町村独自の高齢者虐待対応マニュアルの作成がある。

問題13 加齢に伴う身体的変化について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 嗅覚の閾値は上昇し、においの識別が難しくなる。
- イ 骨髄中の脂肪量は増加し、骨髄量の全身的な低下が起こる。
- ウ 胃液・消化管ホルモン分泌能は上昇し、胃内容物の排出時間は低下する。
- エ 尿細管では、酸の排出が低下しナトリウムの排泄が亢進する。
- オ 基礎代謝率や体水分量は90歳でも80%は残存している。

問題14 介護保険制度について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 被保険者は、40歳以上65歳未満の第1号被保険者と65歳以上の第2号被保険者から構成される。
- イ 認知症対応型共同生活介護は、都道府県が指定・監督する。
- ウ サービスの利用や中止は、「措置」を前提としていることが特徴である。
- エ 平成17年に改正した介護保険法では、介護保険施設など施設等の食費・居住費を保険給付の対象外としている。
- オ 介護保険事業は、①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④機能訓練である。

問題15 基本的ADLの評価指標について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 修正版カツインデックス
- イ バーセルインデックス
- ウ 基本的自立度評価インデックス
- エ 機能的自立度評価表
- オ 老研式活動能力指標

問題16 高齢者へのリハビリテーション看護について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 高齢者のリハビリテーションでは、新たに発症した疾患で生じた障害に対応することが目標となる。
- イ 急性期のリハビリテーション看護で、持続点滴ラインや留置カテーテル類が挿入されていると、日常生活の基本動作を最小限にすることが目標となる。
- ウ 回復期リハビリテーションでは、退院後の療養先の生活に合わせ、多職種チームアプローチによる早期離床と在宅復帰が目標となる。
- エ 回復期リハビリテーション病棟は、発症から入院までの期間や病棟に入院できる期間が疾患により決められている。
- オ 維持期のリハビリテーションでは、高齢者の残存機能をアセスメントし、今までの生活や役割遂行ができるように支援する。

問題17 認知症について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア DSM-5 では、「せん妄やうつ病ではなく、2つ以上の認知領域の以前の水準からの低下と毎日の活動の自立阻害がある」と定義されている。
- イ 認知症の画像診断は、MRI (magnetic resonance imaging) 、MRA( magnetic resonance angiography) 、脳血流 SPECT(single photon emission computed tomography) が用いられる。
- ウ 「実行機能障害」とは、目的のある行動を段取りできず、目的に至る行動ができないことである。
- エ 認知症高齢者にやむを得ず身体拘束を行う場合、ACOVE-3 (Assessing Care of Vulnerable Elders) では、2 時間ごとに栄養、水分補給、清拭、排泄、可動域運動などの援助を実施することを勧めている。
- オ 認知症の進行に伴う寝たきり予防の援助としてユマニチュード技法の「立位援助」がある。

問題18 高齢者の「うつ」について、ア～オの中から適切でないものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 高齢者に発症する「うつ」のリスクファクターとしての男女比は、2:1である。
- イ 高齢者のがん患者では、約80%が「うつ」症状を呈するといわれている。
- ウ 高齢者の急性心筋梗塞では、発症後10日以内で約40%に軽度うつ、または大うつ病性障害がみられる。
- エ 高齢者の「うつ」では罪の意識が低くなる。
- オ 高齢者のうつ症状の日内変動は、夕方に比べ朝に悪化する。

問題19 自閉症スペクトラム症 (ASD) について、問1、問2に答えなさい。

問1 ASDの特徴について、ア～オの中から適切でないものを選び記号で答えなさい。

- ア エコラリア
- イ クレーン現象
- ウ 感覚過敏ないし鈍麻
- エ 心の理論獲得の困難さ
- オ 聴力低下

問2 ASDの治療方法について、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 社会生活技能訓練
- イ 絵カード交換式コミュニケーションシステム
- ウ 行動療法
- エ 暴露療法
- オ ペアレント・トレーニング

問題20 統合失調症の精神症状について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 思考化声とは、自分の考えていることが声として発せられる独語である。
- イ 思考奪取とは、自分の考えが抜き取られてなくなるという感覚である。
- ウ 思考吹入とは、自分の考えが筒抜けになっているという感覚である。
- エ 思考伝播とは、自分の考えが外から伝わってくるという感覚である。
- オ 作為体験とは、他者の行動を操作できるという妄想である。

問題21 精神障害者のRecoveryについて、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 地域で就業活動をすることである。
- イ 失われた機能の回復を第一の目標とする。
- ウ 社会ではなく、精神障害者の側の変化が求められる。
- エ 障害者自身が自分の求める生き方を主体的に追及するプロセスである。
- オ 症状を寛解させ、地域で暮らすことである。

問題22 心神喪失者等医療観察法について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 放火・殺人・強盗などは、医療観察法における重大他害行為である。
- イ 心神喪失者等の社会復帰支援に従事し医療観察法病棟に所属する職員を社会復帰調整官という。
- ウ 鑑定入院とは、心神喪失者等医療観察法に基づく医療の必要性を判定する入院で、5年以上の臨床経験がある精神科医が担う。
- エ 心神喪失者等医療観察法の入院医療は、「入院処遇ガイドライン」では、「急性期医療」・「回復期医療」・「社会復帰期医療」で、概ね18か月である。
- オ 心神喪失者等医療観察法の通院医療は、「通院処遇ガイドライン」では、「通院前期」・「通院中期」・「通院後期」で、原則5年以内である。

問題23 成年後見制度について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 精神上的の障害により判断能力が十分でない人が不利益を被らないように簡易裁判所に申立てをして、援助してくれる人を付けてもらう制度である。
- イ 任意後見人とは、判断能力が衰える前に、予め支援を委託する後見人である。
- ウ 法廷後見制度では、後見・補佐・補助に分かれており、約8割が補助である。
- エ 法廷後見制度における補佐とは、判断能力が著しく不十分な人を対象とする。
- オ 成年後見制度の業務は、財産管理と身体管理に二分される。

問題24 発達障害者支援法について、ア～オの中から誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 発達障害者に対する生活全般にわたる支援の促進をねらいとしている。
- イ 発達障害は、広汎性発達障害、学習障害、AD/HD等、通常低年齢で発現する脳機能障害と定義されている。
- ウ 「社会的障壁」を除去するため、支援が行われる。
- エ 現状では、就労支援について定められていない。
- オ 早期治療の施策について定められている。

問題25 日本の2010年以降の母子保健統計について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 周産期死亡率は、妊娠 22 週以後の死産と新生児死亡の合計である。
- イ 乳児死亡の原因は、乳児突然死症候群が最も多い。
- ウ 妊産婦死亡率は、先進国に比べて高率である。
- エ 出生率は、人口 1000 人に対する出生数であらわされる。
- オ 人工死産率は、この 10 年間で増加している。

問題26 更年期症状について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア クッパーマン指数は、更年期症状の程度を把握するものである。
- イ 小山（1993）の簡略更年期指数では、25 点以下が問題なしと評価される。
- ウ 症状は、主にプロゲステロンの低下によっておこる。
- エ 症状の緩和に心理療法の効果は証明されていない。
- オ 蟻走感には、ホルモン補充療法が有効である。

問題27 ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の感染について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 2013 年における日本の HIV 感染者の感染経路は、同性間の性的接触が最も多い。
- イ 血中の HIV 量は、感染直後がピークである。
- ウ HIV に感染しても HIV 抗体が検出されない期間があり、無症候期という。
- エ 母子の垂直感染を防ぐため、陣痛発来前の選択的帝王切開が行われる。
- オ 胎児への影響を考慮して、妊娠期間中は抗 HIV 薬を投与しない。

問題28 次の事例を読んで、問1、問2に答えなさい。

【事例】 Eさん（25歳、初産婦）は、妊娠40週1日で3100gの男児（Fちゃん）を正常分娩した。分娩後から授乳を開始して、母子同室で過ごしている。産褥3日目、悪露は赤色、子宮底は臍下3横指で硬度良好であり、下肢の浮腫はなかった。黄色い乳汁の分泌が少量あり、乳管の開口数は左右4本ずつで、夕方になると午前中はなかった乳房の緊満が認められた。

問1 Eさんの状態について、考えられるものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 乳汁の分泌が遅れている。
- イ 初乳が分泌している。
- ウ 悪露の排出が遅れている。
- エ 子宮底が産褥の日数に比して高い。
- オ 乳管の開口数が少ない。

問2 産褥4日目の午前10時に訪室すると、Eさんは「少し眠れました。今ちょうど目が覚めました」と話した。Fちゃんは、手を口にもっていき、口を動かしている。Eさんの授乳表をみると、夜間1時間おきに授乳をしていて、最後の授乳は午前7時だった。看護師の対応について、ア～オの中で最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 「まだFちゃんが泣いていないので、もう少し眠っていても大丈夫ですよ」
- イ 「夜間1時間おきの授乳だったので、次の授乳は昼食前にしましょう」
- ウ 「夜は大変でしたね。ちょうどFちゃんも授乳のタイミングですね」
- エ 「夜は眠れなかったようなので、Fちゃんはこちらでおあずかりします」
- オ 「母乳が少し足りないみたいですね。ミルクを足してみましょう」



問題29 次の事例を読んで、問1～問3に答えなさい。

【事例】Gさん（30歳、初産婦）は、保険会社の営業担当で外出が多く、市販の妊娠判定薬で陽性になったため、受診した。その結果、妊娠8週4日と診断された。

問1 Gさんは、身長160cm、非妊時体重52kgであった。正期産で出産する時の体重について、適切な範囲の上限と下限を書きなさい。

問2 妊娠20週4日。血圧136/78mmHg、尿蛋白（－）、下肢の脛骨稜を圧すると、指頭全部が埋まる程度のくぼみがあった。腹部の緊満はなく、超音波断層法で、胎盤は子宮の後壁に付着していて、胎児の推定体重は312gであった。乳頭と乳輪が黒ずんできているが、性器出血はなく、母乳育児を希望している。Gさんのアセスメントとして、ア～オの中から適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 妊娠高血圧症候群である。
- イ 胎児の発育は週数相当である。
- ウ 部分前置胎盤がある。
- エ 母乳育児のために乳房のケアが必要である。
- オ 切迫早産のおそれがある。

問3 Gさんは、「実はタバコを吸っていて、やめようと思っていますが、どうしても食後に吸ってしまいます」と言う。Gさんへの保健指導について、ア～オの中から適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 喫煙していると母乳育児ができないことを伝える。
- イ 禁煙補助剤のニコチンパッチを勧める。
- ウ 食後にガムや干し昆布などを噛むように勧める。
- エ 喫煙による母体の妊娠経過への影響はないことを伝える。
- オ 妊娠中期から禁煙しても効果がないことを伝える。

問題30 子どもの成長発達について、ア～オの中から誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 乳児の心拍出量は成人より少ない。
- イ 頭囲と胸囲は1歳半でほぼ等しくなる。
- ウ 乳歯は2～3歳ごろに20本生え揃う。
- エ 手根骨の化骨数は9歳ごろまでは年齢とほぼ一致している。
- オ 青年期になると骨端線が閉鎖する。

問題 31 予防接種とその種類の組み合わせについて、ア～オの中から誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア Hib ワクチン・・・・・・・・・・不活化ワクチン
- イ 水痘ワクチン・・・・・・・・・・生ワクチン
- ウ MR 混合ワクチン・・・・・・・・・・不活化ワクチン
- エ 日本脳炎ワクチン・・・・・・・・・・生ワクチン
- オ 流行性耳下腺炎ワクチン・・・・・・生ワクチン

問題 32 DENVER II 記録票で9か月児の90%ができるものをア～オの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 毛糸を探す。
- イ 物に手を伸ばす。
- ウ 拍手をまねる。
- エ ほしいものを示す。
- オ バイバイする。

問題 33 次の組み合わせについて、ア～オの中から誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい

- ア マルフアン症候群・・・・・・・・常染色体優性
- イ レット症候群・・・・・・・・常染色体優性
- ウ フェニルケトン尿症・・・・・・・・常染色体劣性
- エ 血友病・・・・・・・・X連鎖劣性
- オ 口唇裂・・・・・・・・単一遺伝子病

問題 34 免疫グロブリンの特徴について、ア～オの中から正しいものを選び、記号で答えなさい。

- ア IgA は、胎盤を通過し胎児に移行する。
- イ IgA は、5 歳ごろ成人と同じレベルに達する。
- ウ 母体由来の IgG は、生後 6 か月ごろ消失する。
- エ 児由来の IgG は、出生直後から産生が盛んになる。
- オ IgM は、出生直後から産生が可能になる。

問題 35 入院している子どもの権利擁護に関連することがらの組み合わせで、正しいものをア～オの中から選びなさい。

- ア 「病院における子どもの看護の勧告」・・・・・・・・国際連合総会
- イ 「児童の権利に関する条約」・・・・・・・・世界保健機関
- ウ 「入院している子どもの権利に関する十カ条憲章」・・全米医療福祉協議会
- エ 「病院の子ども憲章」・・・・・・・・病院の子どもヨーロッパ協会
- オ 「小児看護領域の看護業務基準」・・・・・・・・国際小児看護学会

問題 36 次の事例を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

【事例】 Hちゃん（2 歳 5 か月）は、両親と 8 歳の姉と 4 人で暮らしている。6 日前に発熱および不定形の発疹が腹部と背部に出現し、口唇の充血と乾燥が著明で眼球結膜の充血と四肢の硬性浮腫がみられた。受診時の血液検査の結果は、CRP14.7mg/dL、AST(GOT)25IU/L、ALT(GPT)58IU/L であり川崎病と診断され入院した。

問 1 入院翌日、38.5℃の発熱が続いていて、アスピリンの内服とγ-グロブリンの点滴静脈注射が開始された。母親から「顔色が悪く震えています」とナースコールがあった。Hちゃんの観察で、最も優先順位の高い項目をア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア けいれん発作
- イ アレルギー反応
- ウ 口腔粘膜症状
- エ 脱水症状
- オ 不整脈

問 2 γ-グロブリンの点滴静脈注射が終わったら、維持液を 1 時間あたり 30mL 持続投与するよう医師から指示が出された。小児用輸液セットを使用した場合、維持液の 1 分あたりの滴下数を解答欄に記入しなさい。

問 3 母親は「8 歳の姉も発症するのではないか」「完治するのか」と心配している。母親への説明で、正しいものをア～オの中から 2 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1 対 1.32 で男の子に多い病気です。
- イ 3 歳未満の発症が 80% を占めます。
- ウ きょうだいも 1.6% に発症します。
- エ 再発する子が 10% くらいいます。
- オ 後遺症は 0.3% に認められます。

問題37 介護保険法における地域包括ケアシステムの説明について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア インフォーマルサポートは含まない。
- イ 概ね60分以内の日常生活圏域を単位とする。
- ウ 急性期・亜急性期病院が含まれる。
- エ 全国で画一的なケアシステムの構築を目指す。
- オ 市町村を中心として、関係機関の連携をはかる。

問題38 健康保険法（医療保険）による訪問看護の実施に関する説明について、ア～オの中から正しいものを2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 入院中の患者の外泊には、訪問看護ステーションからの訪問看護が可能である。
- イ 訪問看護の報酬は、居宅サービス支給限度額に含まれる。
- ウ 介護支援専門員がケアプランを作成する。
- エ 65歳未満の者に対する訪問看護はすべて医療保険の対象となる。
- オ 原則として週3日まで訪問看護が可能である。

問題39 次の事例を読んで、問1～問3に答えなさい。

**【事例】** Iさん（80歳代後半、女性）は、一戸建てに娘と二人暮らし。娘は、仕事で日中不在であるが、調理、洗濯などの家事をすべて行っている。Iさんは、骨粗鬆症と高血圧症があり、大腿骨頸部骨折の既往がある。現在は、要支援2の介護認定を受け、寝たきり度ランクJ2、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱである。シルバーカーを利用して近所のスーパーへ買い物に行くが、同じものを購入しがちで、冷蔵庫に賞味期限切れの牛乳がたまっている。買い物以外の時間は、ほとんどテレビを見て過ごしていて、「最近、足腰が弱ってきた。また転んで骨折するんじゃないかと思うと怖い」と話している。現在、週1回の訪問看護で、内服管理とリハビリテーションが行われている。

問1 Iさんに対する訪問看護師の関わりで最も適切なものをア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア リハビリテーションの目的でIさんと買い物へ行く。
- イ 食材の配達サービスの利用を勧める。
- ウ 賞味期限切れの牛乳は、本人に気づかれないように捨てる。
- エ 内服管理のチェックリストの記入を促す。
- オ 認知症の診断を受けるよう勧める。

問2 娘が、「このままだと母が動けなくなって、寝たきりになってしまうのではないかと心配です」と訴えた。娘への提案として、ア～オの中から適切でないものを選び、記号で答えなさい。

- ア 簡単な家事は、Iさんにやってもらう。
- イ 休日は、Iさんと一緒に散歩する。
- ウ Iさんと友人が交流する機会をもつようにする。
- エ 転倒予防のため介護保険で車いすを借りる。
- オ 会社の介護休暇制度を活用する。

問3 Iさんに今後導入する介護保険のサービスとして、ア～オの中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- イ 介護老人福祉施設
- ウ 通所介護（デイサービス）
- エ 介護予防通所リハビリテーション
- オ 看護小規模多機能型居宅介護